

コンピュータ・アート・センター設立の基本理念及び活動の方針

目的

コンピュータを用いることにより、現代の我々の多元的な生活空間に快適性を与え、より充実した精神的・感覚的空間を実現するための研究、技術（ソフトウェアも含む）の開発を行い、これの流通を計り、同時に一般の同様の研究に援助を行なう。

又、この目的のために広く資料を収集、これを公開し一般の利用に供する。

機構： コンピュータ・アート・センターはその運営にあたり必要以上の固定的機構、人員を持たない自由な形を取り、利用者、研究者の望みをそのまま反映することの出来るような、柔軟な、敏感な体質を持ったものとしたい。

自由会員： このため固定的閉鎖的な会員組織をとらず自由会員制とし、多くの人の自由参加を期待する。誰でもこの分野に興味を持ったことにより、すでに会員であり、センターを利用する権利を持つのである。

活動： コンピュータ・アート・センターの基本理念に基き、コンピュータの利用を通じ、社会にとって利益となるような、能動的な運動を行なう。

EXIBITION： この活動の一環として一年に一回及び数回必要な規模の EXIBITION を行なう。これは一般の人々に対しそのコンピュータ・アート及びこれを通じてコンピュータメディアへの理解を深め、その有用性、魅力を知らしめることと、更にこれにより、そのための新しい技術開発をうながすことが目的である。

セミナー等の開催： 又、コンピュータ・アート・センターの目的に副った各種セミナー、講演会、シンポジウム、研究会等、を必要に応じ開催し、この新しいメディアへの理解をひろめ、技術開発への可能性を開く。

国際的な活動： コンピュータ・アート・センターは国際的活動にも積極的に参加し、又一般のこのような参加にも助力しこれを振興する。

海外との連携： 海外の同様な機関（C.A.S など）及び個人との連携を持ち、情報の交換、創作活動その他の交流を計り、又その情報を必要な形態において必要な対象に流通させる。

情報流通： このためには定期、または不定期の機関誌又は、R・R誌のようなものを発行することが、センター内の情報提示と平行して考えられる。

資料収集と公開： コンピュータ・アート・センターはその目的に資する内外の資料の収集を行って居るが、これらの資料は、自由な閲覧が可能なようにコンピュータ・サロン(後期)内に公開展示し、センター世話人数名がコンピュータ・サロンの協力を受つつこれを管理する。機材についても可能な限り公開を原則としたい。

資料室及び連絡所： 品川区東五反田 1-11-15 電波ビル一階
コンピュータ・サロン内 (電 03-445-4106～7)

事務所： 渋谷区神宮前 4-7-13 青山キクカエン 001 (電 03-408-3565)